



自分が自分であることを喜び、 自分を信じていることができる 心の育み



私たち人間は、神さまによって生命を与えられ、唯一無二の存在として、豊かに守られ愛されています。

一人ひとり、資質も発達段階も異なりますが、みんな尊くかけがえのない存在です。

幼いときから、自分が自分であることを喜び、自分を信じていることができる心が育つよう、

一人ひとりの発達への援助を行います。

「模倣」「共感」「やってみたい心」を育てる

子どもは周りの状況をよく見えています。身近な大人や友だちとの関わりの中で共感や模倣をしながら、学習の基礎を身に付けていきます。

また、子どもたち自身が感じて、考えて、心を動かして、自発的に行動できる保育を大切に、生活意欲や豊かな心を育みます。



生活意欲・
豊かな心の
育み

五感を育てる

原町聖愛保育園は、南に広がる本陣山をはじめ、たくさんの自然に囲まれた豊かな環境の中にあります。神さまが創られた自然は、その摂理の中で時に色々なことを教え、子どもの五感を心地良く揺さぶり、興味や探究心を生み出して、不思議や感動の境地へと導いてくれます。

日々生活する園舎内外には、四季折々の草花や自然素材を取り入れて、子どもたちが見て、触って、嗅いで、感じることでできる環境を整えています。



不思議や
感動への
気付き

保育目標

原町聖愛保育園では、子どもが現在を最も良く生き、望ましい未来を創り出す力の基礎を培うことができるように、次の保育目標を掲げています。

- 1 養護の行き届いた環境と家庭的雰囲気の中で、子どもの欲求を適切に満たし、生命の保持と情緒の安定を図り、また、健康・安全など生活に必要な基本的な習慣や態度を養う。
- 2 人との関わりの中で、愛と正義、信頼と思いやりを大切にする豊かな心を育み、人権を重んじると共に、自主・協調の態度を養う。
- 3 神さまから委ねられた自然環境についての興味や関心を育て、その善き管理者として共に生きる豊かな心情や態度を培う。
- 4 日常生活の中で、言葉への興味や関心を育て、喜んで話したり聞いたりする態度、正しい言葉遣い、豊かな表現力を養う。
- 5 音楽、描画、工作(造形)などの体験を通して、豊かな情操・感性・表現力を養い、創造性の芽生えと創意工夫する力を養う。

保育目標の
実現



column

子どもは、大好きな人を真似て自らの力を強くしていきます

子どもは、大好きな人を真似ることで、自らの力を強くしていきます。その中でも「あいさつ」や感謝の言葉は、ご家庭の影響が最も大きく出ます。あいさつは、豊かなコミュニケーションの土台をつくります。大好きなお父さんやお母さんの日常のあいさつが、子どもの“人と楽しく関わろうとする力”を育みます。

